

平成 30 年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施 設 名	豊中市立青少年自然の家
所 管 部 (局) 課	教育委員会事務局 生涯学習課
指 定 管 理 者	特定非営利活動法人豊中市青少年野外活動協会

	評価項目	評価ポイント		所管部局コメント	評価
1	基本姿勢	公共の利益の増進に合致した目標設定をしているか		豊中市の公共施設として設置目的をふまえ、平成30年度青少年自然の家基本計画書に記していた4つの基本事項「1. 各種法令・条例や計画を踏まえた施設運営」、「2. 施設に関わるスタッフ、ボランティアの人権意識のかん養」、「3. 公平、公正な施設の管理運営」、「4. 安全・安心な施設の管理運営」にもとづいた運営が行われていた。 市との連絡調整の任にあたる者が、市の施策、設置目的を理解していることはもちろんではあるが、それ以外のスタッフにおいても、同様のレベルに達することができるよう定期的な内部ミーティング等の活用を図っている。	B
		特定の集団・個人等の利害を反映した目標を設定しておらず中立であるか			
		市との連絡調整の任にあたる者が、市の施策を理解しており、職員にも周知しているか			
		常に施策への協力の姿勢が見られるか			
		法令順守を維持するための内部チェックや研修、公益通報者の内部窓口などのしくみを構築しているか			
		市との連絡調整の任にあたる者が、設置目的を理解しており、職員にも周知しているか			
		事業運営のあり方や、会議・提案等において示す考え方が、施設の設置目的をふまえたものか			
2	サービス水準・施設効用の発揮	その施設として重要と思われる業績の評価指標（KPI） ※大をめざすもの	利用団体数・利用者数	最高評価サービス水準値； 360 団体（20,000 人） 確保すべきサービス水準値； 280 団体 13,000 人 実績値；311 団体（ 14,009 人）	B
			利用率 ※分母は 200%	最高評価サービス水準値； 40% 確保すべきサービス水準値； 30% 実績値； 52.1%	

	評価項目	評価ポイント		所管部局コメント	評価
2	サービス水準・施設効用の発揮		主催事業実施数 (主催キャンプ含む)	最高評価サービス水準値； 20 事業 確保すべきサービス水準値； 17 事業 実績値； 20 事業	
			施設環境整備実施数	最高評価サービス水準値； 8 回 確保すべきサービス水準値； 4 回 実績値； 11 回	
			主催キャンプ実施数	最高評価サービス水準値； 5 回以上 確保すべきサービス水準値； 4 回 実績値； 4 回	
			プログラム開発数 (出前事業含む)	最高評価サービス水準値； 5 件以上 確保すべきサービス水準値； 3 件 実績値； 16 件	
			ホームページアクセス数	最高評価サービス水準値； 20,000 件 確保すべきサービス水準値； 10,000 件 実績値； 40,197 件	
			指導者研修実施回数・延参加者数	最高評価サービス水準値； 8 回、延べ 240 人 確保すべきサービス水準値； 2 回、延べ 60 人 実績値； 3 回、延べ 49 人	
		施設内の巡視点検を実施しているか		サービス水準については 8 項目中 5 項目で最高評価レベルに達しており、指定管理者の努力が感じられた。また、施設整備責任者を中心とした職員全員の地道な巡視点検と、早急な修繕・応急処理により施設が適切に管理、保全され、安全に運営されている。昨年度の消費期限切れ食材提供事故を受けて期限のチェック体制、食材の仕入体制について確認を行うなど安全対策が行われた。	
		事故につながる施設・設備等の損傷がないか (発見時には速やかに対応しているか)			
		業務固有のマニュアルにおいて、安全管理の視点が徹底されており、マニュアルに従った運営がなされているか			
		指定団体の責めに帰すべき事故が発生していないか			

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		正当な理由がある場合を除き、使用許可などをめぐって特定の利用者に対する特別な扱いはないか 公平公正な調定・収納行為を行っているか 日常業務において仕様書の基本的事項を履行していること 人員配置・シフトが適切であり、必要人員が充足されないなどの事態が無いこと 業務マニュアルを常備し、担当者の属人的な業務遂行に頼っていないこと 業務について理解し所管部局からの指示待ちではなく、積極的に建設的な改善提案を行っているか 宿泊棟・キャンプサイトの計画的な整備・修繕が日常的に行われているか 事業計画書にもとづき計画どおり、独自企画事業が行われているか 独自企画事業について成果を検証しつつ改善を加えていくしくみがあるか		
3	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	いずれも市で設定する指標をクリアしており健全である。	A

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
4	市民満足度への配慮	利用者アンケートを実施してニーズ把握を図り、結果を改善に反映しているか 利用者アンケートにおいて良好な結果が得られているか 利用者ニーズを把握するしくみを構築しているか 静音や環境保全等、地域住民に配慮した運営を行っているか ボランティアの受け入れや、地域コミュニティとの積極的な交流などで、地域における新しい公共空間の創造に貢献しているか	利用者アンケートにおいて高い満足度が維持されており、高く概ね問題なし。良くなかった点で、施設の老朽化と交通の項目が高くなっているが、近年利用者のニーズが快適性を求める傾向にあるため、自然と利便性とのバランスが難しい。そのなかで、スタッフ対応の項目で前年度より改善されたのは、スタッフの努力によるものだと評価できる。	B
5	従業者への配慮	労働関係法令違反がないか 適切な就業規則を保持し、それにもとづいて業務を行わせているか 内部チェックや公益通報者の窓口など労働関係法令遵守のしくみを維持しているか 研修計画にもとづき研修を実施しているか 従事者の研修参加率が高いか 従事者の意識調査を実施して従事者満足度の把握を図り、結果を改善に反映しているか 従事者の意識調査において良好な結果が得られているか	概ね従業者への配慮が行き届いた運営が実施されている。今後も従業員の働きがいや研修に参加のしやすさにも留意した運営に努めてほしい。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		人事・人材育成制度や職場活性化のためのしくみにおいて、従事者の働きがいを高めるための工夫がされているか 危険作業の際には、仕様書やマニュアルに従って安全が確保された方法で行われているか 仕様書外危険作業が行われていないか		
6	個人情報保護体制	業務固有のマニュアルにおいて、個人情報保護の視点が徹底されており、マニュアルに従った運営が行われているか 情報セキュリティの確保に関する包括的な体制が構築されているか	マニュアルに基づき、個人情報保護の視点を持って運営されていた。	B
7	危機管理体制	緊急時対応計画が策定されているか 危機管理マニュアル（防犯・防災・事故防止・事故対応）が各セクションに周知され更新されているか 防災訓練が実施されているか	緊急時の対応が策定されており、防災訓練などにも取り組んでいた。今後も、危機管理に関する情報と意識について全員に共有できるよう図ってほしい。	B
8	その他	有識者・各種団体関係者等による提言・意見聴取の機会があるか 能勢町の小・中・高等学校との連携、生涯学習機関との交流・共催事業が実施されているか	運営懇談会を1回開催したほか、豊中市や能勢町の学校や地域こども教室などの周辺地域・団体への広報活動など、連携して取り組んでいる。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		豊中市立小・中学校に対して、施設利用および主催事業参加への訪問啓発活動が実施されているか		
	総合評価		迅速に所管課との報告・連絡・相談を行っており、概ね問題のない運営であった。 今後も、個人情報や危機管理マニュアルの情報共有などを工夫し、職員一丸となった運営で、引き続き利用者満足度の高い運営に努めていただきたい。	B

(評価の基準)

- A ; 優れた管理運営状況である
- B ; 問題のない管理運営状況である
- C ; 改善を要する管理運営状況である